

マーケットの動き（2022年4月25日～4月29日）

先週の為替市場は、米ドルは対円で上昇（円安）しました。日銀が28日の金融政策決定会合で大規模な金融緩和の維持を決定したことから、日米金利差の拡大を意識した米ドル買い・円売りが優勢となりました。ユーロは、対円・対米ドルともに下落しました。

投資環境見通し（2022年4月）

円に対して、米ドル、ユーロともに方向感に欠ける展開

米ドル：米国では景気の緩やかな拡大基調が続くとみられますが、インフレによる個人消費の鈍化が懸念されています。日銀が緩和的な金融政策を維持する姿勢を示していることから、米ドルは円に対して、FRB（米国連邦準備制度理事会）の金融政策見通しに神経質な動きの中、ウクライナ情勢を巡る先行き不透明感もあり、当面は方向感に欠ける展開を予想しています。

ユーロ：ユーロ圏でインフレ率が過去最高更新を続ける中、ECB（欧州中央銀行）による金融政策正常化の動きの中でも利上げ開始時期に対する注目度が高まりつつあります。ユーロは円に対して、ECBの金融政策見通しに神経質な展開の中、地理的に近く域内経済に対する影響が懸念されるウクライナ情勢を巡る先行き不透明感もあり、当面は方向感に欠ける展開を予想しています。

	4月29日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	129.56	1.10	6.85	15.54	20.62
ユーロ/円	136.68	▲1.75	0.44	4.72	4.73

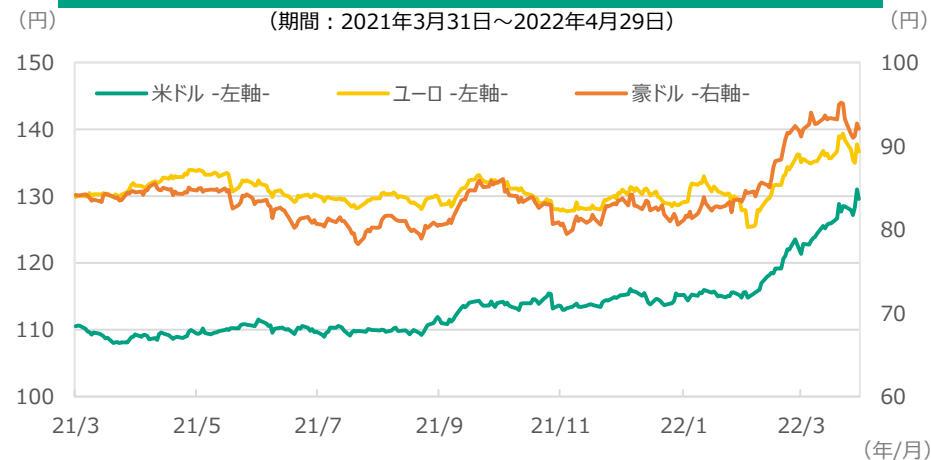
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

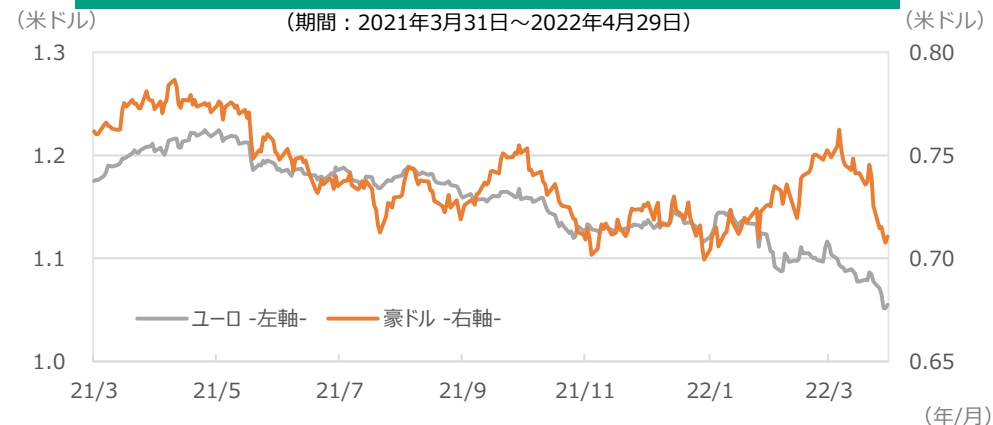
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202204_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成